



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

広域農業基盤整備管理調査
筑後川下流地区排水解析検討業務

積算書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名 広域農業基盤整備管理調査		数量	単位	単価	金額	備考
業務名 筑後川下流地区排水解析検討業務						
業務別業務名: 筑後川下流地区排水解析検討業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	主任技師 主任技師		人	66,900		歩A・単A
S02115	技師(A) 技師(A)		人	59,600		歩A・単A
S02115	技師(B) 技師(B)		人	48,500		歩A・単A
S02115	技師(C) 技師(C)		人	40,300		歩A・単A
S63003	1-2.作業計画立案 設計労務(直接人件費内業)		式	727,400		歩A・単A
S63003	2-1.実績降雨に基づく確率降雨量の算出 設計労務(直接人件費内業)		式	369,200		歩A・単A
S63003	2-2.気象予測資料の収集整理 設計労務(直接人件費内業)		式	345,500		歩A・単A
S63003	2-3.過去実験データの整理 設計労務(直接人件費内業)		式	345,500		歩A・単A
S63003	2-4.将来実験データの整理 設計労務(直接人件費内業)		式	345,500		歩A・単A
S63003	2-5.将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出 設計労務(直接人件費内業)		式	345,500		歩A・単A
S63003	2-6.日降雨パターンの分析 設計労務(直接人件費内業)		式	309,400		歩A・単A
S63003	2-7.近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認 設計労務(直接人件費内業)		式	385,800		歩A・単A
S63003	3.計画基準外水位の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	3,839,300		歩A・単A
S63003	4.現況排水解析 設計労務(直接人件費内業)		式	8,458,700		歩A・単A
S63003	5.排水対策構想設計 設計労務(直接人件費内業)		式	5,183,800		歩A・単A
S63003	6.概算工事費算出 設計労務(直接人件費内業)		式	1,371,400		歩A・単A
S63003	7.照査 設計労務(直接人件費内業)		式	267,600		歩A・単A
S63003	8.点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	810,600		歩A・単A
S63007	1-1.現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	608,200		歩A・単A
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日		回	88,550		歩A・単A
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工程,中間,0.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日		回	75,670		歩A・単A
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)					

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

業務別業務名:筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04003 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
	合計				66,900	算出数量 1.000 人
	単価				66,900	
*** S単 - 2号 ***						
S02115	技師(A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04004 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
	合計				59,600	算出数量 1.000 人
	単価				59,600	
*** S単 - 3号 ***						
S02115	技師(B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04005 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
	合計				48,500	算出数量 1.000 人
	単価				48,500	
*** S単 - 4号 ***						
S02115	技師(C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師(C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04006 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師(C)	1.000	人	40,300	40,300	
	合計				40,300	算出数量 1.000 人
	単価				40,300	
*** S単 - 5号 ***						
S63003	1-2.作業計画立案		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名		広域農業基盤整備管理調査				
業務名		筑後川下流地区排水解析検討業務				
業務別業務名: 筑後川下流地区排水解析検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C)	4.000	人	40,300	161,200	
	合計				727,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		727,400	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	2-1.実績降雨に基づく確率降雨量の算出		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	5.000	人	36,100	180,500	
	合計				369,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		369,200	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	2-2.気象予測資料の収集整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				345,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		345,500	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	2-3.過去実験データの整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

業務別業務名: 筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合 計				345,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		345,500	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	2-4. 将来実験データの整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合 計				345,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		345,500	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	2-5. 将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合 計				345,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		345,500	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	2-6. 日降雨パターンの分析 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	

事業名		広域農業基盤整備管理調査				
業務名		筑後川下流地区排水解析検討業務				
業務別業務名:筑後川下流地区排水解析検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				309,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		309,400	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	2-7.近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				385,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		385,800	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	3.計画基準外水位の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	5.00人				
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	23.00人				
	6)技師Cの人数	23.00人				
	7)技術員の数	24.00人				
R04003	主任技師	5.000	人	66,900	334,500	
R04004	技師 (A)	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師 (B)	23.000	人	48,500	1,115,500	
R04006	技師 (C)	23.000	人	40,300	926,900	
R04007	技術員	24.000	人	36,100	866,400	
	合計				3,839,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		3,839,300	
	*** S単 - 14号 ***					
S63003	4.現況排水解析 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	20.00人				
	4)技師Aの人数	25.00人				
	5)技師Bの人数	40.00人				
	6)技師Cの人数	45.00人				
	7)技術員の数	52.00人				
R04003	主任技師	20.000	人	66,900	1,338,000	
R04004	技師 (A)	25.000	人	59,600	1,490,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

業務別業務名:筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04005	技師 (B)	40.000	人	48,500	1,940,000	
R04006	技師 (C)	45.000	人	40,300	1,813,500	
R04007	技術員	52.000	人	36,100	1,877,200	
	合 計				8,458,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		8,458,700	
	*** S単 - 15号 ***					
S63003	5.排水対策構想設計 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	3)主任技師の人数	8.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	10.00人				制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	5)技師Bの人数	30.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	34.00人				
	7)技術員の人数	34.00人				
R04003	主任技師	8.000	人	66,900	535,200	
R04004	技師 (A)	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師 (B)	30.000	人	48,500	1,455,000	
R04006	技師 (C)	34.000	人	40,300	1,370,200	
R04007	技術員	34.000	人	36,100	1,227,400	
	合 計				5,183,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		5,183,800	
	*** S単 - 16号 ***					
S63003	6.概算工事費算出 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	3)主任技師の人数	1.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	5.00人				制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	5)技師Bの人数	5.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A)	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師 (B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師 (C)	10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員	10.000	人	36,100	361,000	
	合 計				1,371,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,371,400	
	*** S単 - 17号 ***					
S63003	7.照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	3)主任技師の人数	4.00人				深夜時間:0.0
	4)技師Aの人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬季補正:なし
	5)技師Bの人数	0.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務					
業務別業務名: 筑後川下流地区排水解析検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04003	主任技師	4.000	人	66,900	267,600	
	合計				267,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		267,600	
	*** S単 - 18号 ***					
S63003	8.点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)	5.000	人	40,300	201,500	
R04007	技術員	5.000	人	36,100	180,500	
	合計				810,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		810,600	
	*** S単 - 19号 ***					
S63007	1-1.現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A) 外業	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B) 外業	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C) 外業	4.000	人	40,300	161,200	
	合計				608,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		608,200	
	*** S単 - 20号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師	0.700	人	66,900	46,830	
R04004	技師(A)	0.700	人	59,600	41,720	

事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務					
業務別業務名: 筑後川下流地区排水解析検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				88,550	算出数量 1.000 回
	単価		回		88,550	
	*** S単 - 21号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.2日					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 設計工種	一般工種				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 深夜時間: 0.0
	2) 打合せ	中間				
	3) 設計用主任技師人数	0.00人				
	4) 設計用技師 (A) 人数	1.00人				
	5) 設計用技師 (B) 人数	1.00人				
	6) 設計用技師 (C) 人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.200日				
R04004	技師 (A)	0.700	人	59,600	41,720	
R04005	技師 (B)	0.700	人	48,500	33,950	
	合計				75,670	算出数量 1.000 回
	単価		回		75,670	
	*** S単 - 22号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務, 着手前・最終, 通勤により打合せ, 一般交通機関, 0日,					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 設計工種	一般工種・解析等調査業務				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 深夜時間: 0.0
	2) 打合せ内容	着手前・最終				
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師 A 配置人員	1人				
	5) 技師 B 配置人員	0人				
	6) 技師 C 配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.20日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	10) 交通機関区分	一般交通機関				
	11) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12) 鉄道往復1人当料金 (税別)	1,800円				
	13) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) ライトバン使用日数	0日				
	18) 宿泊料金 1人当料金 (税別)	0円				
	19) 宿泊手当 1人当料金 (税別)	0円				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	算出数量 1.000 回
	合計				3,600	
	単価		回		3,600	
	*** S単 - 23号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務, 中間, 通勤により打合せ, 一般交通機関, 0日,					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 設計工種	一般工種・解析等調査業務				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 深夜時間: 0.0
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師 A 配置人員	1人				
	5) 技師 B 配置人員	1人				
	6) 技師 C 配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.20日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	10) 交通機関区分	一般交通機関				
	11) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12) 鉄道往復1人当料金 (税別)	1,800円				
	13) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				

事業名		広域農業基盤整備管理調査				
業務名		筑後川下流地区排水解析検討業務				
業務別業務名: 筑後川下流地区排水解析検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	
	合計				3,600	算出数量 1.000 回
	単価		回		3,600	
	*** S単 - 24号 ***					
S63018	旅費交通費(設計外業日帰用)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,4日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)高速道路往復料金(税別)	2,690円		深夜時間:0.0		
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	4日				
	8)時間区分	3時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	2.000日				
	11)設計用技師A外業日数	2.000日				
	12)設計用技師B外業日数	4.000日				
	13)設計用技師C外業日数	4.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	4.000	式	2,690	10,760	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	4.000	日	1,960	7,840	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	32.400	L	166	5,378	
	合計				23,978	算出数量 1.000 式
	単価		式		23,978	
	*** S単 - 25号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1. A - 4,800,10cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0		亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)規格区分	A - 4		深夜時間:0.0		
	3)枚数区分(枚)	800				
	4)厚さ区分	10cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43496	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 800枚	1.000	部	10,200	10,200	
P43544	簡易加除式ファイル A 4縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	789	789	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合計				10,989	算出数量 1.000 式
	単価		式		10,989	

令和 7 年度広域農業基盤整備管理調査
筑後川下流地区排水解析検討業務

特別仕様書

九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条 令和7年度広域農業基盤整備管理調査筑後川下流地区排水解析検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条 本業務は、国営かんがい排水事業「筑後川下流地区」の排水計画について、将来の降雨予測に基づく計画基準降雨を用いた排水解析を実施し、整備水準を満足する排水対策の構想設計を行い、概算工事費を算出するものである。

(場所)

第1-3条 本業務において対象とする場所は、福岡県久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、みやま市、三潴郡大木町、佐賀県佐賀市、神埼市、武雄市、三養基郡上峰町、同郡みやき町、神埼郡吉野ヶ里町、杵島郡白石町で別添業務位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

第1-4条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

第1-5条 業務請負契約書、共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-6条 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(照査技術者)

第1-7条

- (1) 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(2) 共通仕様書第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- 1) 業務計画作成時
- 2) 確率降雨量の検討時
- 3) 現況排水解析検討時
- 4) 排水対策構想設計検討時
- 5) 概算工事費算定時

(3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第 1-8 条 担当技術者は共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1-9 条 共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第 1-10 条 受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2-1 条 設計の基本的事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準 計画 排水(平成 31 年 4 月)」を優先して適用する。なお、当該図書は令和 6 年度に改訂を予定しており、改訂が行われた場合には速やかに改訂版を適用するものとする。また、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

(参考図書)

第 2-2 条 設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農地防災事業便覧(改訂第 4 版)	農地防災事業研究会	平成 11 年 1 月

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
2	農業農村整備事業計画便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成 15 年 8 月
3	国営土地改良事業調査計画マニュアル	(社)農業土木事業協会	平成 5 年 3 月
4	土地改良事業計画設計基準 設計 水路工	農業農村工学会	平成 26 年 3 月
5	土地改良事業計画設計基準 設計 ポンプ場	農業農村工学会	平成 30 年 5 月

(貸与資料等)

第 2-3 条 貸与資料は次のとおりである。

分類	名 称	数量
設計関係資料	令和6年度広域農業基盤整備管理調査 筑後川下流地区排水解析検討業務報告書	1 式
〃	令和5年度広域農業基盤整備管理調査 筑後川下流地区排水解析業務報告書	1 式
〃	令和5年度地区調査 佐賀中部地区排水計画 (案) 策定業務	1 式
〃	平成13年度 筑後川下流地区排水計画検討業務報告書	1 式
〃	平成16年度 排水管理検討業務報告書	1 式
〃	平成17年度 排水管理検討業務報告書	1 式
〃	平成18年度 排水管理検討業務報告書	1 式
その他	土地改良事業計画 (排水) における将来の降雨予測に基づく確率降雨量算定マニュアル (案)	1 式
〃	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1 式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-4 条

第 2-2 条、第 2-3 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、作業時点の最新版を用い、作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時まで一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3-1 条 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりであり、詳細は別紙【作業項目内訳表】に示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 計画・準備	1 式	
1-1. 現地調査	1 式	

作業項目	数量	備考
1-2. 作業計画立案	1式	
2. 将来の降雨予測に基づく確率降雨量の検討	1式	
2-1. 実績降雨に基づく確率降雨量の算出	1式	
2-2. 気象予測資料の収集整理	1式	
2-3. 過去実験データの処理	1式	
2-4. 将来実験データの処理	1式	
2-5. 将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出	1式	
2-6. 日降雨パターン分析	1式	
2-7. 近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認	1式	
3. 計画基準外水位の検討	1式	
4. 現況排水解析	1式	
5. 排水対策構想設計	1式	
6. 概算工事費算定	1式	
7. 照査	1式	
8. 点検とりまとめ	1式	

(作業の留意点)

第3-2条 作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法、アウトプット及びソフト名称等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条、第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求められることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 排水対策構想設計の検討にあたっては、最新の素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
 - ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、http://www.nn-techinfo.jp/mdb_web/MdbTop.do を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）については、<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。
- (5) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条 共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

- 第2回 中間打合せ（確率降雨量の算出段階）
- 第3回 中間打合せ（計画基準外水位の検討段階）
- 第4回 中間打合せ（現況排水解析段階）
- 第5回 中間打合せ（排水対策構想設計段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

第5章 成果物

（成果物）

第5-1条 成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体（CD-R等） 正副2部
2. 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

（成果物の提出先）

第5-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20
九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

（契約変更）

第6-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第3-1条に示す「作業項目・作業内容及び数量」に変更が生じた場合。
- （2）第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- （3）第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- （4）履行期間の変更が生じた場合。
- （5）関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- （6）その他

第7章 定めなき事項

（定めなき事項）

第7-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1 【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. 計画・準備		
1-1. 現地調査	本業務の排水解析や排水対策の検討に必要な現地条件、施設情報や地理情報などを把握するための現地調査を実施する。	1式
1-2. 作業計画立案	業務全体の作業方針を立案するとともに、業務遂行のための資料収集を行う。また貸与資料の内容を把握の上、業務計画書や業務工程表を作成し、業務の計画準備を行う。	1式
2. 将来の降雨予測に基づく確率降雨量の検討	佐賀、柳川及び白石の3観測所を対象とし、将来の降雨予測に基づく確率降雨量(1/10)の検討を行う。 なお、作業手順は、貸与資料の「土地改良事業計画(排水)における将来の降雨予測に基づく確率降雨量算定マニュアル(案)」による。	
2-1. 実績降雨に基づく確率降雨量の算出	気象庁HPから実績降雨(時間雨量)の観測データ(1981年9月1日～2011年8月31日までの30年の期間)を入手し、各年における年最大値の算出(1～3日連続降雨)、確率降雨量(1/10)を算出する。 なお、2-3、2-4において過去実験値及び将来実験値のバイアス補正を行うために必要な観測値の100パーセント値についても算出する。	1式
2-2. 気象予測資料の収集整理	気象予測資料(データセット)はd2PDF(5km)とし、HPに公開されている「全国5kmメッシュアンサンブル気象予測データ」から、過去実験データ(過去実験12メンバ×30年分(1981年9月1日～2011年8月31日))及び将来実験データ(将来実験12メンバ×60年分(2031年9月1日～2091年8月31日))の時間降雨量データを収集し整理する。	1式
2-3. 過去実験データの処理	2-2で収集した過去実験データを用いて、各年における年最大値の算出(1～3日連続降雨)し、確率降雨量(1/10)を算出する。また、過去実験値のバイアス補正を行い、補正した過去実験値に基づく確率降雨量(1/10)を算出する。	1式
2-4. 将来実験データの処理	2-2で収集した将来実験データを用いて、各年における年最大値の算出(1～3日連続降雨)し、確率降雨量(1/10)を算出する。また、2-3で算出したバイアス補正の補正係数を引用し、補正した将来実験値に基づく確率降雨量(1/10)を算出する。	1式
2-5. 将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出	2-3、2-4で算出した1～3日連続降雨量に対して、過去と将来の実験値に基づく各確率降雨量の比から降雨量変化倍率を算出し、2-1で算出した実績降雨に基づく確率降雨量(1/10)に乗じて将来の降雨予測に基づく将来の確率降雨量を算出する。	1式
2-6. 日降雨パターンの分析	実績降雨の日降雨パターン及び補正した将来実験値の日降雨パターンを各々検討し日配分雨量を求めるとともに、日配分雨量に対する時間配分の検討も行う。なお、前歴事業の波形との比較検討も行う。	1式
2-7. 近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認	2011年以降の近年の降雨の影響等を確認するため、最新年までの実績降雨の降雨資料から確率降雨量(1/10)を算出し、2-5で算出した将来降雨予測に基づく確率降雨量と比較を行う。	1式

作業項目	作業内容	作業実施欄
3. 計画基準外水位の検討	2. 将来の降雨予測に基づく確率降雨量の検討の結果に伴い、福岡県側、佐賀県側の計画基準外水位（計画潮位、河川水位（筑後川、矢部川、六角川））の検討を行う。	1式
4. 現況排水解析	別紙2の検討ケースについて排水解析を行い、湛水状況図を作成し湛水面積を算出する。	1式
5. 排水対策構想設計	4. 現況排水解析の結果に基づき、整備水準（原則無湛水（5cm以下）、ただし5cm以上（白石地区のみ20cm以上）の湛水を国営路線流域ごとに概ね10%の範囲で許容）を満たすための排水対策を反映した計画排水解析を行う。 なお、排水対策は各排水ブロック地区につき2パターン程度とし、排水施設（排水機場や排水樋門）の追加や規模拡大、排水路の新設や排水系統の見直し等、排水河川の整備状況等を勘案した対策を想定している。	1式
6. 概算工事費算定	排水対策に掛かる概算工事費を算定する。なお、工事費は近傍実施単価などを参考に算定する。	1式
7. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1式
8. 点検とりまとめ	各作業項目の成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式

別紙2 【現況排水解析及び排水対策構想設計の検討ケース一覧表】

検討 ケース	解析条件	対象排水ブロック (対象ブロックは○)								
		①筑後 北部	②筑後 中部	③大和	④三田川	⑤千代田	⑥徳永・ 諸富	⑦川副 (徳永)	⑧川副 (南里)	⑨白石
(1)	1/10確率降雨、 計画河川断面、 先行排水無し	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)	1/10確率降雨、 現況河川断面、 先行排水無し	○	○	○	/	/	/	/	/	/
(3)	1/10確率降雨、 計画河川断面（花宗川、新橋 川のみ1/2暫定計画断面）、 排水慣行見込む、 先行排水無し	○	○	/	/	/	/	/	/	/

